

普及活動情勢報告（平成31年3月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

集落営農塾を開催 ～集落営農組織の活性化を目指して～



組織や地区の悩みを相談中

3月1日、いの町吾北中央公民館で吾北地区集落営農組織連絡会（集落営農塾ステップアップコース）を開催しました。

連絡会には3組織6人が参加し、農業改良普及課から高知県内の集落営農組織の現状とDVDによる事例紹介を行いました。その後、参加組織から活動内容や集落の状況について意見交換を行いました。参加組織からは、中山間地域等直接支払制度の次期対策や担い手確保・機械更新等について、組織同士の質疑応答がありました。

農業改良普及課は、引き続き集落営農塾を開催して、集落営農組織の活性化に取り組みます。

「第10回土佐・ぶんたん祭」が開催されました！～さらなる消費向上を目指して～



対応に追われる生産者

3月3日に高知市中央公園で土佐文旦振興対策協議会が主催の「第10回土佐・ぶんたん祭」が土佐の「おきゃく」2019に合わせ開催されました。

管内からはJA高知県土佐市営農経済センター職員2人と土佐市の生産者15人が参加しました。当日は100箱分が完売し、試食用の180箱分も午後の早い段階でなくなるなど、「土佐文旦」は、まだまだ消費が伸びる余地があることが感じとれました。

農業改良普及課は、引き続き生産者と連携しながら、知名度・消費向上に向けて支援していきます。

J A高知県 とさしメロン部会現地検討会～春作メロンに向けた課題、今後の栽培管理について～



管理について熱心に意見交換

3月14日、9人の参加を得、メロン種苗会社講師を招き現地検討会を行いました。外気温度も上がりハウス内温度が高くなるとともに、栽培管理が難しくなる今後の時期に向けて各ほ場で意見交換を行いました。

生育ステージに適した換気・灌水管理、肥大特性やネット形成などについて農家から熱心に質問や意見が出されました。JA、普及課も栽培管理や問題となっている病虫害防除などの助言を行いました。

農業改良普及課は、黄化えそ病など難防除病虫害が目立つてきたこの時期、関係機関と連携して、夏作や栽培終了後の有効な対策を推進していきます。

はちきん農業大学の開催 ～環境制御と決算書の見方について～



決算書について講義中

2月27日、農業振興センターにおいてはちきん農業大学地域講座「環境制御と決算書の見方」を2人の参加を得て開催しました。

農業改良普及課は、決算時期も近づいたことから決算書の見方についてと、環境制御技術の具体的事例をもとに紹介しました。参加者からは、「決算の内容がよくわかった。来て良かった。」「露地栽培なので、基礎技術も知りたい」等の意見がありました。

今後も農業改良普及課は、参加者のニーズに合わせ、講座内容の充実をしていきます。

